

## 畜産ニュース

### ◎県酪連の事業計画と役員改選総会で きまる

岡山県酪連は6月8日、岡山市内美好野会館で第4回の通常総会を開き、前年度事業報告のほか、37年度事業計画の協議、役員改選などを行なった。その結果、業務組織を常任委員制としたほか、参事を2名に増員、その下に総務課、業務課をおき、各部門に責任役員をきめ、業務の内容を分担して事業を進めることにしている。

また事業計画では、本年度は組織の強化、資本金、施設の増強を2つの重点事項として事業を行なうこととし、これによって生乳の一元集荷多元販売を有利に行なう。また購買、指導生産奨励等の諸事業を通じて、酪農団地の育成、経営の拡大をはかり、同会の事業規模を拡充していくことにしている。

このうち目につくものとしては、生乳取扱手数料を1kg当15銭(現行5銭)に値上げし、会員へのサービスとして乳質改善指導強化と生乳の適正な取引や価格の維持につとめる。本年度に生乳処理施設の充実のため、クーラーステーションを3ヵ所設置する。飼料その他酪農資材の普及と斡旋事業を強化する。酪農技術向上のための助成。乳牛の売買斡旋として本年度からは廃用牛の共同出荷も行なう。などである。

なお役員改選により一部に異動があり、執行部の新陣容はつぎのとおりとなった。

(会長理事) 荒木栄悦、(副会長理事) 流郷章雄、(理事) 黒瀬長志、丸本市松、平本武夫、定金正皓、出射了、三宅賢、三宅忠雄、坂本登、(代表監事) 砂場武士、(監事) 丸山亀一郎、景山尚敏、(参事) 原田蔵男、黒住正季

### ◎岡山県草地協会総会で37年度実施事業 きめる

岡山県草地協会は、さる7月5日岡山市の遺族会館で、草地改良実施市町村は、農協の会員および賛助会員など約40名が出席して第3回草地協会総会を開き、36年度事業実績報告、37年事業計画などについて協議を行なった。

なおこの会議で役員改選を行い、▽会長 佐藤峯一郎(新庄村長)、▽副会長 菅野保男(賀陽町長)、

今田淳(和気町長)、▽理事 草野八治(一宮町長)、定金正皓(水島酪農協)、宮本武(大佐町長)、杉山朋一(旭町長)、亀山乾(川上村長)、▽監事 須一源平(奈義町長)、久次太郎(吉永農協)、丸山亀一郎(美星町農協)、▽幹次 蔵知毅(県畜産課長)の各氏を新たに選出した。

また草地協会の新年度事業は、積極的に草地開発を推進できるようかなり予算規模も拡大しており、主な実施項目としてつぎのような計画を立てている。

- 1、草地造成改良の研究、座談会の開催
- 2、草地造成改良にともなう機械類の現地展示、実演会の実施
- 3、草地共励会、乾草共励会の援助、普及啓蒙
- 4、講演会の開催の援助
- 5、県の草地造成改良事業を円滑にするための市町村事務の援助促進
- 6、草地造成改良にともなう資材の需給調整
- 7、先進地視察

### ◎県獣医畜産学会11月に開催予定

第7回岡山県獣医畜産学会は、今年は例年より時期を遅らせて、11月2日(金)、岡山県庁9階ホールで開催される。研究発表は25名程度で、うち選抜の5名が代表として11月16、7日鳥取での中国ブロック学会に臨む予定。また堀本宣実日本獣医師会長の特別講演が行なわれる。

### ◎牛乳消費促進月間9月20日から

県畜産課では、最近牛乳の生産にくらべ消費の伸びがやや鈍っているため、9月20日から10月20日までの1ヵ月間を「牛乳、乳製品の消費促進月間」として、いろいろの行事を通じて牛乳、乳製品の消費拡大に努めることにしている。そのため、この月間中には、県の酪農団体、乳業メーカーや広く一般の協力を得てつぎのような行事をすすめることにしている。

岡山畜産便り 1962.08

## 月間行事予定

- ◎広報 テレビ・ラジオ放送、ポスターその他印刷物、アドバルーン、横断幕等による。スライド上映（映画館）
- ◎集団飲用の促進 消費生活協同組合設立を促進する。
- ◎パレード 岡山市内ほか、消費促進の PR、ミス牛乳参加。
- ◎食生活展 9月20日から26日まで岡山県農業会館において牛乳乳製品の展示即売会同料理教室開催。